

渡辺 絢美(小4) ピアノ

先日は、校外演奏会に出演させていただき本当にありがとうございました。

私が、今回ひかせていただいた「宇宙船」の楽譜を初めて見たときは、できるかどうか、本当に心配でした。ひいてみると、とてもむずかしく、初めのうちは大変でしたが、先生やたくさんの方々からアドバイスをいただいたおかげで、どんどんこの「宇宙船」という曲が大好きになっていきました。

本番でも、とても気持ちよくひけて良かったです。また、たくさんの方々からささえていただいたおかげで、音楽の大切さや楽しさがよりいっそうわかったと思います。これからは、このけいけんをいかして、がんばっていきたいと思います。ありがとうございました。

中根 秋桜子(小5) ピアノ

校外演奏会という大きな舞台上、曲を弾けるのを楽しみに、練習してきました。本番前、きん張ってしまったからなのか、テンポは早くならなかったけど、少し余裕がないように弾いてしまった事と「間違えずに」という事ばかり考えてしまって、かたくなってしまい、のびのびと弾けなかった事が反省です。少し苦手だった連打や、ノクターンのような回想シーンが上手く弾けて良かったと思います。自分では、あまり満足できていないので、今回の反省点などを、よく確認して、次回の小6の試験など、今後の練習につなげていきたいです。今回、大きな舞台に出られて、私は自分が成長できたと思っています。

小倉 美春(小6) ピアノ

初めて校外演奏会にソロで出演させていただき、良い経験になりました。また大きなホールで弾くのはあまり慣れていなかったので少し緊張しましたが、自分なりのシューマンの音を奏でることができました。練習の過程では、難しくてやめよう、と思ったこともあったけれど、それでもあきらめないで弾けたのは、やはり自分の中でこの曲をどうしても弾きたい、という強い意志があったからだと思います。また、弾き始めた頃は、シューマンの世界が理解できず、必死になってシューマンのあらゆる作品を聴いている内に、シューマンの作品に込められた思いなどが、自分なりに解釈できるようになりました。まだ本物とは言えないけれど、シューマンの音を探し当てた喜びは、自信へとつながりました。最後に、シューマンの心を丁寧に教えてくださった松谷先生、直前まで私を支え、励ましてくださった両親に感謝します。これからも、この経験を生かして、音楽と共に歩んでいきたいと思っています。

松田 龍(小6) ピアノ

ものすごく緊張しました。

今までの練習は、弾く時に「ぶつけた音にならないように」を意識してやってきました。でも、それに意識してやると小さな音になってしまいました。先生に、「小さい音よりは、音がちょっとぶつかってもいいから大きく弾いた方がおもしろい。」と言われ、それからはものすごく大きな原っぱにいる気持ちで弾きました。本番当日、ものすごく緊張していたのを、ソル

フェージュクラスの友達が助けてくれました。おかげで肩が楽になり、楽しく弾こうという気持ちが高くなり、本番の舞台では「とても楽しくいきいきと弾けたかなあ。」と思いました。聴いてくださった皆様、本当にありがとうございました。

服部 百音(小3) ヴァイオリン

ヴュータンをステージでひいた感想は、とても楽しかったです。いつもよりきんちょうしなかったので自分でも少しなっとくのできるえんそうができたと思います。ヴュータンは、ぎこうてきな所とうたう所がはっきりしているので、ぎこうてきな所もエチュードのようにならないようにうたいながらひこうと思いました。

斎藤 碧(小5) ヴァイオリン

今回は、校外演奏会に出させていただきありがとうございました。去年も出させていただき、2回目の出演で、去年程緊張はしなかったのですが、お友達に来てくれていたので少し緊張しました。

演奏は、満足にできて良かったのですが、ホールがとても響いていてびっくりしました。今回出られて本当に良かったです。そして、また出たいです。

高木 凜々子(小6) ヴァイオリン

楽しくひけました。でも、すごくきんちょうしました。なぜかというと、たくさんのお客さんがいたからです。実は、前の日の夜、夢の中で、校外演奏会のホールを見たんです。そこには、満員電車みたいにたくさんのお客さんがいるではないですか!ビックリしておきた時、私は、「夢と現実とは反対!」と思っていたのですが、ホールにいった時、夢とまったく同じで満席になっていたの、すごくビックリしてしまいました。本番は、どうなることかと思いましたが、舞台上に立ったとたんきんちょうがほぐれたので、安心してひけました。来年の校外演奏会でも、ソロをひきたいなと思いました。

野口 朔(小5) チェロ

本番ではとても緊張して、うまく弾けなかつともありましたが、精一杯演奏できて気持ちよかったです。

うまく弾けなかった所は、また次の機会に出来るようにしたいです。

石田 啓明(中2) ピアノ科アンサンブル

今回は、初めて舞台でのアンサンブルでしたが、緊張も少なく、楽しむことができました。

また、アンサンブルを舞台で弾かせていただける機会があったら、ぜひジャンケンで勝って(?) ファーストをやりたいと思います。

反田 恭平(中2) ピアノ科アンサンブル

今回は1人で弾くのではなく2人で弾くという事でとても緊張しました。練習は2人の空いた時間帯のみということで、あまりできませんでした。が、頑張って取り組みました。とても大変でしたが、当日は、たぶん成功だったと思うので良かったです!

やはり2人で演奏するという事は、とても楽しいことでした!また、機会があったら出てみたいです!

下戸 快(中2) ピアノ科アンサンブル

今回の演奏会は石原君と二人で楽しく演奏することができました。先生にも色々教わりながら、二人で曲の表情をつけていくのが楽しかったです。

石原君の豆知識には驚きました(笑)。

高木 凜々子(小6) オーケストラ

すごく、楽しかったです。最初、がくふをわたされた時に、「ファーストの5」と聞いて「え? 6年なのに...?」とビックリしました。でも、実際やってみると「なんだ!かんたんじゃん!よかった。」と安心しました。

校外演奏会で大変だったことは、オーケストラの前の前が、私のソロの本番だったからです。「大丈夫かな...。間に合うかな...。」と思いながら、ドキドキしたけど、オーケストラの本番に間に合ったので、終わったあと「ホッ...。」としました。来年もうまくいくと、いいです。

田中 啓太郎(小6) オーケストラ

この『シンプルシンフォニー』は弾いていて気持ちいいので、オリンピック記念青少年総合センターホールで演奏すると決まった時はとてもうれしかったです。

大山先生はとても丁寧に教えてくださいました。だから、日々うまくなっていきました。当日はとてもいい演奏ができたと思います。そして、僕は大山先生に花束を渡しました。これも緊張しました。

またいつかチャンスがあれば、僕は大山先生の指揮で校外演奏したいと思います。

築地 杏里(小6) オーケストラ

校外演奏会は、Aオケに入って最初の演奏会であり、初めての経験でした。練習から、リハーサルまで教えてくださった先生方、指揮をしてくださった大山先生に感謝したいです。

初めての校外演奏会で楽しく弾けたので、すごく良かったと思いました。ありがとうございました。

村川 健太郎(小6) オーケストラ

3月22日の演奏会まで恵藤先生のご指導のもとで分奏したり全員で合わせたりしながら練習してきました。また、大山平一郎先生が細かいところまでとても熱心に指導してくださったので、大変勉強になりました。シンプルシンフォニーは、特に2楽章が全部ピッチカートで難しかったです。今後もオーケストラで色々な曲を演奏しながら音楽を勉強していきたいと思いました。

山田 百香(小6) オーケストラ

今回、初めてヴィオラのパートになりました。最初の方は、譜面や楽器に慣れていなくて、とても難しかったです。でも、何回も合奏をしていると、慣れてきたこともあって、ヴィオラを弾くのが楽しくなってきました。ピチカートだけの2楽章は、手がついていなくて、周りの上級生を見てすごいと思いました。本番は、すごく緊張したけれど、大山先生が最後にほめてくださったので、嬉しかったです。次のロッシーニの曲は、ヴィオラがないと聞いたので、どんな風になるか楽しみです。

山本 一輝(小6) オーケストラ

ブリテンは、前回のストラヴィンスキーに比べればリズムなどが単純(シンプル)で、曲は易しかったけれど、ぼくは初めてのヴィオラが少し大変でした。最初に楽譜を見た時は、八音記号が読みにくくて慣れるまでは大変でしたが、慣れてからはヴァイオリンの下で支えるのが楽しくなりました。

練習では、指揮の大山先生の厳しい指導を受けました。そして本番はあっという間に終わりました。でもそのあっという間の中には、たくさんことができました。みんなが集中し、注意されたことを気にしていました。この曲で学んだことを生かして、オケを続けていきたいです。

岡野 瑛美(中1) オーケストラ

演奏会まで、指揮者の大山先生にいろいろと教えてもらいながら練習をして少しずつ上達して、そしてオリンピック記念青少年総合センターホールで演奏をしました。やっぱり練習している部屋と違ってすごく良く響いて気持ちよかったです。ただ、音程をはずしてしまったり、弓をまちがえたりというミスもありました。でも、楽しく弾けたからよかったんじゃないかなと思います。

多和田 智大(中1) オーケストラ

今回の「シンプルシンフォニー」は技術的には2楽章が、表現的には3楽章が難しかったです。2楽章は全てピッチカートだったので、移絃のときにテンポにおくれないように気をつけました。速くならないように指揮者を見ながら弾いたのも、とても大変でした。3楽章は、pppからffまでを使った強弱の差に気をつけました。時にはささやくような、また時にはつらい胸の内を爆発させたような感情の差を出すのはとても難しかったです。1楽章と4楽章は、共にはなやかで速い曲でしたが、僕はDurで終わる4楽章がこの曲では好きです。

平井 沙緒里(中2) オーケストラ

いつの頃からか生活の中心がヴァイオリンの時間にあてられ、友人との約束もお休みの日も単調な流れになっている事に気づかずに居た時、ヴァイオリンの先生に「公園に行って、陽気から元気をもらっていらっしやい」と言われた事がありました。たくさんの大きな樹から気もらったせいかな、確かに清々しい気分になる事が分かりました。オーケストラや室内楽を終えて感じる事は、何かそれに似ていて元気になれる事です。オーケストラの作品や指揮者の先生

と一緒に演奏する人達から気をもらっているのかなとも思います。自分の音楽をもっと大きくして今度は聴いている人へ気を届けられる様にこの機会を大切にしていきたいと思います。

間宮 美紗(中2) オーケストラ

今回、私はオーケストラでセカンドのコンミスとして弾かせていただきました。

本番前のリハーサルでは、皆の気持ちの向かう方向が、どこことなくバラバラしていて、テンポも速くなってしまったり、音楽的なことも上手く出来ず、自分自身がコンミスとしての責任を果たせていないことにも、もどかしく(今日はどうなってしまうのだろう...か)と不安になりましたが、本番15分前ぐらいに、楽屋でファーストのコンミスの土岐さんと一緒に、リハーサルでも急いでしまったところなどを弾き、「ここはアイコンタクトしよう!」とか「ここは急いで危険だから、急いだら、私たちだけでも、おさえよう!」など... 今までのオーケストラの本番前とはまた違った『人と人とのつながり』のようなものを感じられて... 私自身の中で宙を浮いていた何かが落ち着き、不安だった気持ちよりも、いいものを奏でたい!という気持ちの方が大きくなりました。

そうして向かえた本番は、リハーサルの時よりも皆の気持ちの向かう方向がそろって、今までのオーケストラの本番には無かった、キラキラした『アンサンブルの醍醐味』が味わえました。なので、演奏後のお客様の拍手、大山先生とさせていただいた握手は、とても嬉しかったです!

これからは、中3としての自覚も持ちながら、soloでは味わえない音楽の素晴らしさに出会う為に、頑張ります。弾かせて頂きまして、有り難うございました。

米元 理葉(小1) ボディパーカッション

わたしは、ボディパーカッションにでてとても楽しかったです。しつちょうからブラボーていわれたのもうれしかったです。山本先生もいろんなことをおしえてくれて、楽しかったです。

摂待 真衣(小2) ボディパーカッション

わたしはボディパーカッションにさんかするのは、2回目です。今年は、『くるみわり人形』と『マリンバスピリチュアル』の2きょくをやりました。『マリンバスピリチュアル』の方は、マリンバと、打がっきの生えんそうにあわせておどるので、はく力があって楽しみでした。でも、たったの4回のれんしゅうだけで、こんなむずかしいきょくができるのかなあと少しふあんになりました。去年よりも、1回のれんしゅう時間がふえたので、とてもしんどかったです。当日は、今までの中で一番よかったといわれ、はく手もたくさんもらって、私は、かんどうしました。こういうきかいがもっとふえるといいなと思いました。

米川 知里(小3) ボディパーカッション

練習の時もつかれたけれど楽しかったです。みんなの心が一つになって、本番は上手にできたとおもいます。まちがえなくてよかったと思っていました。本番はおもいきりできました。

秋本 啓志(小4) ボディパーカッション

僕にとって、3回目のボディパーカッションでした。しかしリハーサルが短く、振り付けを覚えきれているかどうか不安でした。しかし、いざ本番。『くるみ割り人形』の曲に合わせて登場という時、僕は笑っていたそうです。(公演の後、母や先生に言われましたが、無意識だったのです。)でも実際は、ずっと緊張が解けずに、ドキドキハラハラしていました。でも意外と自分ではパフォーマンスが上手くいったと思いました(少々あぶないところもありましたが)。またこのような機会があれば、是非、参加したいです。

阿部 励佳(小4) ボディパーカッション

初めMDをきいた時、今までと感じがちがったので「どういうふうにするんだろう」と想像もつきませんでした。でも、やってみると楽しくて、特にくるみわりの方が覚えやすく楽しかったです。私は今回で4回目の出演です。また出てみたいです。

河野 礼(小4) ボディパーカッション

練習の時は、くるみ割り人形の報はすぐ覚えてしまったけれどマリンバスピリチュアルの方はなかなかじめなくて少し心配だったけれど後から体がだんだんと覚えてきて、かっこよくておもしろい曲だなあ、とっていました。

本番は一番前の列だったので失敗したらすごくめだちそうだなあ、とか考えながらポーズをとっていました。でも本番はまちがえずにすっきり終わって最高の気分でした。ボディパーカッションはいつやってもすごく楽しい!!来年もぜひ参加したいです。

周参見 夏子(講師) ボディパーカッション

何と楽しかったことでしょう!

ずーっと昔の自分の子供時代に、この音教で感じた並はずれたエネルギー、他のどこにもない熱くほとばしるパワーに再びふれた思いがします。山本愛香先生のあの声、あの姿に導かれて全員の心に火がつかしました。

集中力・表現力・リズム感・聴音力・感性・集団のマナーなどいっきに身につきますよ。

この演目にかかわられたすべての皆様に心よりお礼申し上げます。有り難うございました。

小林 美樹(小3) 合唱

曲がおもしろかったです。会場が広がったので、楽しかったです。

萩原 すみれ(小3) 合唱

今回の演奏会ではじめてオリンピックセンターのぶ台に立ちました。それに、コーラスをお客さんに聞いていただくのもはじめてだったので、少しきんちょうしました。ホールに、歌やピアノのばんそうがひびいていたのがおどろきました。私は、コーラスは、アルトやメゾ、ソプラノで音が重なり、きれいな曲になる所や、おもしろい歌がうたえる所がすきです。また、大きなホールでみんなであうたいたいです。

秋本 啓志(小4) 合唱

練習が多かったので、自信はありました。でも僕にとって初めての合唱だったので(本番はとても緊張するかな)と不安でした。しかし、あまり緊張しませんでした。というより(本当に本番なのか?)と実感がわきませんでした。曲の中では、「ピアノのおけいこ」が歌っていて楽しかったです。また、「白鳥」が好きになりました。曲調がきれいだったからです。上級生方がとてもきれいな声で歌っていました。次は僕もあのように歌いたいと思います。

河野 礼(小4) 合唱

練習の時は上のクラスと一緒に練習して部屋も広くなったせいかとても気持ちよく歌えて楽しかったけど、何よりも先生の教え方がうまくいつもの授業があつという間に終わってしまうような気がしました。本番の時はきんちょうというよりも「楽しみで早く歌いたい」という気持ちの方が強くて、ぶたいで歌っている時はほとんど何も考えずに「お客さんにいい歌をとどけよう!」という思いでめいいっぱい歌っていました。終わった時はとにかくほっとしてお客さんにはどう聞こえたのかなぁ?とずっと思っていました。来年にまたぶたいで歌える機会があったら、ぜひ参加してまた歌いたいと思いました。

片山 星夏(小5) 合唱

演奏会にむけて、たくさん練習しました。3・4年生との合同練習や当日の練習など、みんなでがんばりました。本番直前は、すごく不安だったけど、上手く歌えたので、良かったと思います。本番が終わったあと、先生が一人いなくなってしまうと聞いたときは、びっくりしました。でも、5ヶ月間、みんなでたくさんの歌を歌えて良かったです!

千葉 遥一郎(小5) 合唱

合唱は何よりも歌っていて楽しかったです。大勢で舞台に出たのできん張せず、のびのびと歌うことができました。ピアノをひくにもものびのびひきたいので、これを生かしていきたいと思っています。

他の方の演奏は、どれもみんなきいていて楽しかったです。一つ一つの音がすべて音になっていて自分にもよい教えとなりました。

この演奏会をきいて自分が少しかわった気がします。

耳塚 周(小5) 合唱

私が「動物の謝肉祭」で一番好きな曲は、旅の白鳥です。以前にも聞いた事があるので、かんたんにできる、と思っていましたが、とてもむずかしい曲でした。また、このような機会があればぜひやってみたいです。

小倉 美春(小6) 合唱

今年も友達同士励ましあったり助けあったりして舞台上に臨みました。また、小学校3・4年生も加わったので、去年よりもいっそう華やかな合唱になったと思います。私は、今年もソプラノで出演させていただき、改めてハーモニーを作ることの難しさ1人1人が協力することの大切

さを学べました。今年は譜面を見ての出演となってしまいましたが、私としては充分成果が出せたと思います。曲数も多く、それぞれにちがった難しさがありましたが、いろいろな人のおかげで私は歌うことができる、と自分に言い聞かせ、最終的に、お客様から大きな拍手をいただき、とても励みになりました。この経験を通して学んだことを忘れずに、これからいろいろな音楽を勉強していきたいと思いました。

深澤 美夕(小6) 合唱

私は、今回が初めてだったので、(失敗したり、楽譜を落としたりしないかなあ...)と思ってしまい、少し不安でした。けれども、音楽教室で練習した時は、きちんと暗譜ができていたので、(できるだけやってみよう!)と思い、本番をむかえ、ステージに立ちました。意外と聴衆の方が多く、少しおどろきました。たくさんの拍手を頂いた後、会場が静かになりました。その時私は、(今までで一番上手にできるといいなあ)と考え、実行できるように、今まで先生方が教えてくださった事を考えながら、「王様ライオン」を元気よく歌いました。その後、いつも練習の時はうまく合わなかった「にわたりの三重唱」もうまくいき、私がこの「動物の謝肉祭」でいちばん好きな曲の「フィナーレ」まで、大きな声で、はっきりと歌い終えることができました。終わった後に聴衆の方々から頂いた拍手は、最初に頂いた拍手よりも大きく感じました。そして私の目標の「今までで一番上手にできること」が実行できたので、とても嬉しかったです。今度の合唱の発表の時は、「もっと表現をして歌うこと」を目標にしたいと思います。

石渡 悠馨(中2) 合唱

私は、この機会に楽しく歌うことができました。また、声を出すこと(大きく)は簡単なようで難しかったです。サン=サーンスの動物の謝肉祭が大好きです。歌ってきているうちに、本当にその曲のイメージがわいてきました!!そして、各表題が本当に表現されていて、サン=サーンスは本当にすごいなあと思いました。また本番は緊張せず、その動物のように、楽しく表現することが大変でしたが、本当に良かったです。

保護者の感想

3月に行われた校外演奏会には、思いがけず合唱に4年生で出していただき、3~4年生はとても張り切っていました。歌は好きで、いつも家でも合唱の曲を歌っていましたが、今回はより力を入れて、自分で音取りをしながら一生懸命に暗譜をしていました。やはり本番があるとなると、本人も家族も、力の入れ方が変わってくるものだと思います。今後もこのような機会がありましたら是非参加させていただきたいです。

控え室にての練習風景に、まず、感動しました。最後まで手を抜かず、熱血指導をなさる関田先生、諸先生方に頭の下がる思いでした。リハーサルの時よりも、本番が、ぐんと素晴らしい響きでした。海のじじまの白鳥では、涙が出そうでした。子供の声って何て純粋で、透明な

のだろう、と今更のように心が震えました。(通っている小学校の合唱のレベルと雲泥の差あたりまえですね に驚きました。)ピアノのおけいこ...へーたクソ、ウールサイ、ヤーカマシイのあたりでは、笑ってしまいました。選曲もステキで、本当に感動しました。我が娘を舞台で見直す機会を与えていただき、本当にありがとうございました。感謝です。

初めての練習の時は覚えられるか不安でしたが、本人のやる気が出てからは、生き生きと参加していました。毎回、楽しかったと笑顔で満足そうに話してくれました。本番、緊張の中、とても皆しっかりと出来て感動しました。本人も「またやりたい!」などと言ってます。今でも、くるみ割り人形をピアノで弾いてみたり、踊ってみたり、色々な曲にボディパーカッションをつけたりと楽しんでいます。こんなにも楽しんでもくれるので本当に参加して良かったと心から思いました。ご指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。又、生演奏での素晴らしいピアノ、パーカッション、マリンバにふれ、貴重な体験となりました。子供にとってとても世界が広がり、色々な音楽を知る機会となりました。